

目次

第 I 部 研究会「大学共同利用研究所・研究機関の成立」	1
はじめに	高岩 義信 3
開催にあたって	戸塚 洋二 9
研究会開催の趣旨について	高岩 義信 11
総研大・葉山高等研究センターのプロジェクト研究	菅原 寛孝 15
第 1 章 基研：大学共同利用研究所の誕生	登谷 美穂子 .. 17
1. はじめに	17
2. 湯川記念館の竣工まで	17
3. 湯川記念館の運営方式と活動	21
4. 基研への移行と法人化まで	24
第 2 章 乗鞍宇宙線観測所設置の経緯と運営の形態	近藤 一郎 30
1. 終戦前	30
2. 1945～49 年（昭和 20～24 年）	31
3. 1950～54 年（昭和 25～29 年）	32
4. 1955～59 年（昭和 30～34 年）	36
5. 1960～69 年（昭和 35～44 年）	37
6. 1970 年～（昭和 45 年以降）	38
7. 宇宙線観測所の利点・問題点	38
第 3 章 原子核研究所とその共同利用に関する報告	菊谷 英司 40
1. はじめに	40
2. 原子核研究所の設立とその背景	40
3. 共同利用の形態	42
4. 共同利用施設と利用者	44
5. まとめ	49

第4章 原子核将来計画：素粒子研究所提案の背景	高岩 義信	53
1. 問題提起		53
2. 「共同利用研究所」発展のPhase		53
3. まとめ		60
第5章 プラズマ研究所の運営	大林 治夫	62
1. はじめに		62
2. プラズマ研究所設立までの経緯		63
3. 研究所の性格		64
4. 運営形態		65
5. 研究所発足後の変化		68
第6章 日本学術会議、特に原子核特別委員会から見た原子核将来計画と KEK 発足	小沼 通二	71
1. 学術会議、核特委との関わり		71
2. 核特委の活動と原子核将来計画		72
3. 大学共同利用研究機関設立の経緯		74
第7章 素粒子研設立をめぐる問題	西村 純	79
1. 宇宙線開発の歴史的経緯		79
2. 原子核研究所設立の経緯		81
3. 原子核将来計画について		82
4. 素粒子研究所設置上の問題		84
第8章 大学共同利用研究機関の成立	武田 暁	87
1. はじめに		87
2. 核研への赴任から所長就任までの経緯		88
3. 原子核研究所の設立をめぐる		93
4. 人事の特色としての任期制		97

- 5. 素粒子研究所設立計画をめぐって 99
- 6. 共同利用研に関わる議論を振り返って 105

第9章 高エネルギー物理学研究所の設立（当事者から見た歴史）

北垣 敏男 ... 108

- 1. 高エネルギー加速器計画の当初 108
- 2. 学問、加速器の時代背景 110
- 3. その後、40 GeV AGS、4分の1縮小案 110
- 4. コメント 113

第10章 共同利用機関創設業務に携わって 重藤 学二 ... 115

- 1. 共同利用機関の誕生 115
- 2. 高エネ研での体験から 117
- 3. 共同利用機関の今後に向けて 119

第11章 フォトン・ファクトリー誕生の頃の裏話 高良 和武 ... 121

- 1. はじめに 121
- 2. フォトン・ファクトリー世話人会の誕生と学術会議 121
- 3. 学術会議による勧告 122
- 4. 共同利用 123
- 5. 満月計画（実験棟の拡張） 124
- 6. 海外の反応 126

第12章 共同利用研の「再定義」問題と法人化 五十嵐 尤二 ... 131

- 1. 大学共同利用研の問題点を考えるにあたって 131
- 2. 基研再定義問題 132
- 3. 法人化の構造的問題 135

第 13 章 阪大核物理研究センター（全国共同利用）の成立と今後の課題 板橋 隆久 ... 138

1. 核物理研究センターの設立と運営 138
2. 経済活動と基礎科学の関係 141

第 14 章 大学共同利用機関の法人化と機構化 平山 英夫 ... 148

1. 大学共同利用機関法人化の検討開始まで 148
2. 法人化に向けての検討体制と経過 150
3. 機構化・法人化に向けて 153
4. 法人化の成立と問題点 158

第Ⅱ部 研究会「大学共同利用機関の歴史とアーカイブズ」 161

はじめに 平田 光司 ... 163

開催にあたって 菅原 寛孝 ... 168

第 1 章 アーカイブズ学とは何か 安藤 正人 ... 171

1. アーカイブズとは? 172
2. 日本のアーカイブズ状況 174
3. 「歴史資料」から「アーカイブズ資源」へ 176
4. アーカイブズ学研究の現在 180
5. アーキビスト教育の課題 186

第 2 章 アーカイブズ・カレッジのプログラム紹介 青木 睦 ... 194

1. アーカイブズ学とは 194
2. 史料管理学研究会の開始 195
3. アーカイブズ・カレッジへの再編 195
4. 長期コースの具体的内容 199

第3章 オーラルヒストリー入門	喜多 千草	205
1. オーラルヒストリーの定義		207
2. コンピューティングにおけるオーラルヒストリーの実例		209
3. オーラルヒストリーの活用について		212
第4章 京都大学大学文書館の紹介	西山 伸	221
1. 京都大学大学文書館の現状		221
2. 今後の課題		228
3. 大学アーカイブズについて		229
第5章 核融合アーカイブ室の紹介	松岡 啓介	234
1. 核融合アーカイブ室の創設と現状		234
2. 核融合アーカイブズ室の今後の展望		240
第6章 核融合研究のアーカイブズ	木村 一枝	243
はじめに		243
1. 1970 年代終わり～1980 年代半ば／早川幸男・元名古屋大学学長の遺したこと		244
2. 1980 年代後半～1990 年代後半／科学史家のした仕事		247
3. 1999 年～2004 年／アーカイブズ共同研究の立ち上げとその活動		249
4. 核融合アーカイブズ室の現状の課題		254
おわりに		255
第7章 高エネルギー加速器研究機構史料室の報告	高岩 義信	257
1. 史料室の経過と現在の組織		257
2. 主な活動の概要		258
3. 史料室の今後の課題		262

第8章 宇宙科学研究所の歴史	西村 純	267
1. はじめに		267
2. 宇宙科学研究の体制問題		268
3. 宇宙科学研究の歴史と宇宙科学研究所		269
4. 我が国の宇宙体制との関連		273
5. 宇宙科学研究所の基本的方針		274
6. 他の共同利用研究機関との対比		275
7. 宇宙科学研究所の国際的な評価		276
8. 国際的な宇宙戦略とのかかわり		277
9. 統合について		278
第9章 分子科学研究所と岡崎国立共同研究機構の創設	横山 利彦	281
1. 分子科学研究所の創設の経緯		281
2. 統合化の経緯		292
第10章 共同利用研究所と学術会議	中井 浩二	298
1. 基礎科学への投資		298
2. 学術会議の誕生と活動		299
3. 学術会議の変遷		304
4. 基礎科学の進展のために		306
第11章 遺伝学研究所の歴史	舘野 義男	310
1. 国立遺伝学研究所の設立まで		310
2. 発足当時の状況		313
3. 遺伝学研究所の現状		316
第12章 生理学研究所の歴史	柿木 隆介	319
1. 生理学研究所の歴史と現状		319
2. 生理学研究所の成果		322

第Ⅲ部 一般論文	329
はじめに	平田 光司 ... 331
第1章 夢から現の5年一貫	嶋本 伸雄 ... 332
1. 総研大のジレンマ	332
2. そもそも論	333
3. 疾風怒濤の時代へ	335
4. 専攻間の温度差	334
5. 新方針は「多様性」	335
6. 真の敵は内にあり	336
第2章 京都大学大学文書館および学術情報メディアセンターに関する 報告	加藤 直子 ... 338
1. 京都大学大学文書館	338
2. 京都大学学術情報メディアセンター	344
第3章 CERN（欧州素粒子原子核研究所）アーカイブスと広報室について の報告	横山 広美 ... 349
1. CERN アーカイブスについて	349
2. CERN プレスオフィスについて	354
第4章 KEK-UCLA Workshop on KEK Archives（2004）報告	大林 治夫、木村 一枝 ... 356

本書へのご意見、ご感想をお寄せください。

宛先 総合研究大学院大学 葉山高等研究センター 平田光司

e メール hirata@soken.ac.jp

FAX 046-858-1542

共同利用機関の歴史とアーカイブズ2004

葉山高等研究センター研究プロジェクト「人間と科学」

研究課題「大学共同利用機関の成立に関する歴史資料の蒐集とわが国における巨大科学の成立史に関する研究」2004年度報告

発行日 2005年8月

発行責任者 平田光司

編集 株式会社ミューズ

発行所 総合研究大学院大学 葉山高等研究センター
〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町湘南国際村

印刷所 中川印刷株式会社

ISBN4-901598-07-4

Printed in Japan

-
- 無断複写・転載禁止
 - 本書の内容に関しては著者に責任があり、総合研究大学院大学または葉山高等研究センターまたは著者以外の共同研究メンバーの関与するところではありません。